

# 構造工学論文集 Vol.71B(建築部門)投稿要領

一般社団法人日本建築学会  
構造委員会  
構造工学論文集編集小委員会

構造工学論文集編集小委員会(以下、編集小委員会)は、構造工学論文集 Vol.71B への論文投稿を募集する。希望者は本要領により奮って論文を投稿されたい。なお、本論文集は日本建築学会会員資格の有無によらず投稿できる。

## 1. 対象論文

対象論文は、主として建築構造物にかかわるすべての工学技術についての未投稿論文で目的・方法・結論等の明記された、理論的または実証的な研究、あるいは新しい知見を含み学術的に価値の高い特色のある施工・調査など、構造工学の発展に寄与すると考えられる論文を対象とする。なおプログラム編成の参考にするので、下記の部門名の中から適当なものを選択し明記のうえ、投稿されたい。

1. 応用力学・構造解析	2. 外乱・設計荷重	3. 基礎構造・地盤工学
4. 振動・免震・制振	5. 鉄筋コンクリート構造	6. PC構造
7. 鋼構造	8. 木質構造	9. 壁式構造・組積構造
10. シェル・空間構造	11. 合成構造	12. 仮設構造
13. 原子力構造	14. その他(海洋構造、設計理論、安全性、新構・工法など)	

## 2. 登載料

論文の登載が認められた場合、頁数によらず1編あたり50,000円の登載料を負担する。なお、登載料請求書の発行は2025年2月下旬を予定している。

## 3. 執筆要領

- (1) 頁数は最大14頁とする。
- (2) 「日本建築学会論文集」の論文作成要領に準拠して作成する。用紙サイズはA4判とする。本文は2段組とし、紙面の割付は、版面:247mm×178mm、本文段幅:86mm、段間:6mm、余白:上20mm・下30mm・左右

15mmとする。論文体裁は編集小委員会 [Webページ](#)に掲載している「体裁見本」にならうこと。

- (3) 論文第1頁には、1行目左上隅に Journal of Structural Engineering, Vol.71B, April 2025、1行目右上隅に Architectural Institute of Japan、また、2行目左上隅に構造工学論文集 Vol.71B(2025年4月)、2行目右上隅に日本建築学会と記す。
- (4) 表題は強調文字や斜体とせず、和文表記は明朝体を、欧文はローマン体(主題:すべて大文字、副題:文頭文字のみ大文字としほかすべて小文字)を用いる。
- (5) 名前の英文字は名前・姓の順でイタリック体を用い、名前は頭文字のみ大文字でその他は小文字、姓はすべて大文字とする。
- (6) 単位系はSI単位を原則とする。
- (7) 論文の各頁右下に頁番号を記す。
- (8) 既往の研究、関連研究を適切に引用し、研究の位置付けを明確にする。
- (9) 連続した論文を投稿する場合は、各編が独立した内容とする。
- (10) 論文は上記事項を遵守のうえ文書作成ソフトで作成し、Adobe Acrobat Readerで表示および印刷可能な6MB以内のPDF形式で投稿する。

## 4. 投稿手順・締切

### (1) 投稿手順

以下の投稿手順①②を締切までに済ませること。

#### ①投稿登録

以下に示すURLの投稿登録フォームより論文情報および筆頭著者情報を送信する。

<https://forms.gle/i2uXaQkZL6Dve5Ye6/>

※規制等のためGoogleフォームに接続できない場合は、本要領末尾に記載した問合せ先にその旨を伝え指示に従う。

#### ②論文原稿PDFの送信

上記情報の送信後、論文原稿PDFを添付したメールを編集小委員会に送信する。送信するメールの宛先と件名は以下に指定する。

【宛先】 [kozokogaku@aij.or.jp](mailto:kozokogaku@aij.or.jp)

【件名】 71B 論文原稿 (\*\*\*\*)

※件名の\*\*\*\*には筆頭著者の氏名を記入する。

例：71B 論文原稿 (山田太郎)

(2) 募集締切

2024年9月18日(水) 16時59分

5. 査読結果の通知および最終原稿の提出

2024年12月中旬に論文の査読結果を筆頭著者にメールで通知する。掲載候補論文と判定された著者は、査読意見等をもとに原稿を修正し、所定の締切までに最終原稿を提出する。最終原稿作成期間は1ヶ月程度設ける。

6. 構造工学論文集の発行とJ-STAGEでの無料公開

構造工学論文集 Vol.71Bは2024年4月上旬にJ-STAGEでの発行および無料公開を予定している (Vol.68B以降は冊子の論文集を作成しない)。

7. 第71回構造工学シンポジウムの開催

第71回構造工学シンポジウムは2025年4月12日(土)～4月13日(日)に東京工業大学大岡山キャンパス(東京都目黒区大岡山2-12-1)にて開催する予定である。ただし、現地での開催が困難な場合には、オンライン開催とする。論文集に掲載された論文は、原則として筆頭著者がシンポジウムで発表する。また、シンポジウムにおいて「若手優秀発表賞」を設けて顕彰する。シンポジウムのプログラム等の詳細は編集小委員会 [Web ページ](#)に掲載する。

8. 編集小委員会の構成と査読および掲載論文の決定

- 編集小委員会は主査・幹事・委員で構成する。
- 編集小委員会は査読者による審査結果にもとづき構造工学論文集への最終的な論文の掲載可否を決定する。
- 査読者選定をはじめ、編集作業の実務は主査・幹事で構成する幹事会で行うこととし、選定した査読者名、査読結果を編集小委員会に報告する。
- 査読判定基準は本会の「[論文集応募原稿査読要領](#)」の査読評価基準に準ずる。
- 編集小委員会は1編の論文に対し、3人の査読者に査読を依頼し、採用または不採用の判定を仰ぐ。査読に際し、査読意見も求める。
- 査読の結果、査読者2人以上から採用の判定を得た論文で、編集小委員会の審議にて査読結果が妥当と認められたものを掲載候補論文とし、これに該当しない論文は掲載否論文とする。
- 再査読は行わず、査読結果および審議結果に対する異

議申し立ては受け付けない。

- 編集小委員会は最終原稿が査読意見等に対して適正に修正されているかを確認し、審議のうえ論文の掲載可否を決定する。

9. 編集小委員会委員

主査	永野 正行	(東京理科大学)
幹事	朝川 剛	(東京電機大学)
	竹内 徹	(日本学術会議・東京工業大学)
	中澤 祥二	(豊橋技術科学大学)
	中野 達也	(宇都宮大学)
	西村 康志郎	(東京工業大学)
	森 拓郎	(広島大学)
委員	五十嵐 規矩夫	(東京工業大学)
	五十田 博	(京都大学)
	菊地 優	(北海道大学)
	楠 浩一	(東京大学)
	田村 修次	(東京工業大学)
	蛭川 利彦	(九州大学)
	森 保宏	(名古屋大学)
	山下 哲郎	(工学院大学)

10. 問合せ先

一般社団法人日本建築学会 事務局  
構造工学論文集編集小委員会係 (加藤、高畑)  
TEL: 03-3456-2057 | E-Mail: [kozokogaku@aij.or.jp](mailto:kozokogaku@aij.or.jp)

以上